

平成27年3月期
決算説明会資料

平成27年6月9日

 **英和株式会社**

(東証二部 9857)

企業概要	・・・	P.3
平成27年3月期 連結決算概要	・・・	P.7
平成28年3月期 連結計画	・・・	P.17
中期3カ年経営計画	・・・	P.20
営業施策 注力商品	・・・	P.25
参考資料	・・・	P.31

企業概要

企業概要(平成27年3月31日現在)

商号	英和株式会社(EIWA CORPORATION)
創業	昭和22年6月15日
代表取締役社長	阿部 健治
本社所在地	大阪府大阪市西区北堀江四丁目1番7号 東京都品川区西五反田一丁目31番1号(日本生命五反田ビル10階)
資本金	15億3340万円
連結従業員	289名
上場市場	東京証券取引所 市場第2部(証券コード:9857)
国内営業拠点	35カ所
連結子会社	3社:双葉テック(株)、東武機器(株)、 英和双合儀器商貿(上海)有限公司
事業内容	◆工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、 産業機械の販売 ◆以上の物の輸出入代理業務、仲立業、賃貸業、古物売買業 ◆上記製品にかかわる施工、修理業務

あらゆる顧客や業界に、4分野の商品を幅広く展開



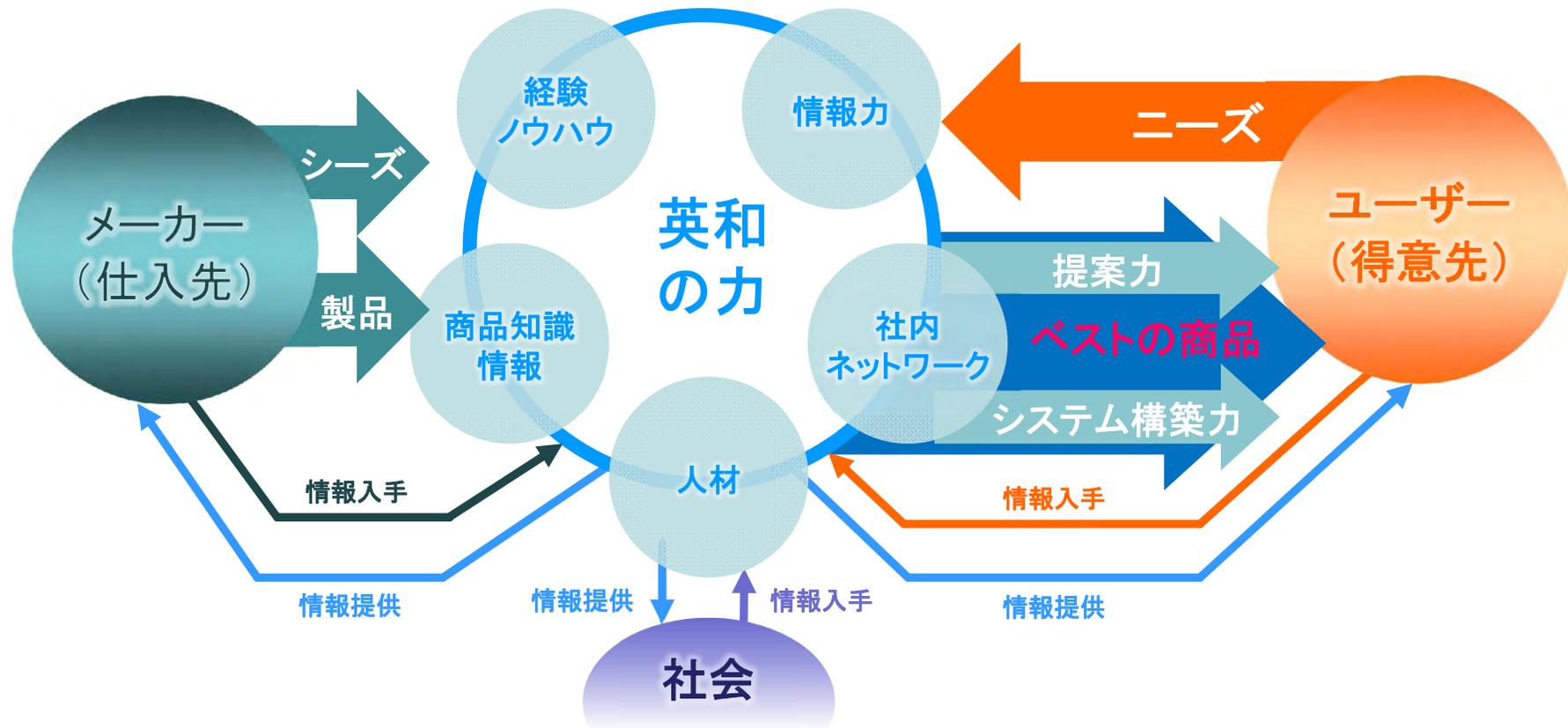
ビジネスモデル

◆ユーザーとメーカーを繋ぐインターフェース企業

◆英和だからできる『ベスト』を常にユーザーに

◆ノウハウの蓄積と更なる進化が英和の力

◆英和の力を形にする人材を目指す



平成27年3月期 連結決算概要

平成27年3月期業績

(単位:百万円)	平成26年 3月期	平成27年 3月期	前期比	平成27年 3月期	計画比
	実績	実績	増減率	計画	達成率
売上高	30,446	34,338	+ 12.8%	31,500	109.0%
営業利益	677	1,008	+ 49.0%	730	138.2%
経常利益	713	1,030	+ 44.5%	730	141.2%
当期純利益	376	584	+ 55.1%	385	151.8%
1株当たり利益(円)	59.49	92.35	+ 55.2%	—	—
総資産	20,350	21,758	+ 6.9%	—	—
純資産	7,190	7,754	+ 7.8%	—	—
自己資本比率(%)	35.3	35.6	+ 0.3	—	—

決算の概況

- ▶ プラント・エンジニアリング、石油化学、機械製造業等での設備更新投資や船用機器製造業が堅調で、当社グループの主力商品である工業用計測制御機器の売上が増加いたしました。また、政府補正予算による官公庁向け災害対策用特殊車両や一般産業車両、メガソーラー関連付帯機器の販売が好調に推移し、産業機械の売上が大きく伸長いたしました。

品目別売上高推移



(単位:百万円)	平成25年3月期		平成26年3月期			平成27年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比
工業用計測制御機器	14,482	53.8%	15,846	52.0%	+ 9.4%	16,312	47.5%	+ 2.9%
環境計測・分析機器	2,167	8.1%	2,529	8.3%	+ 16.7%	2,517	7.3%	▲ 0.5%
測定・検査機器	1,536	5.7%	1,812	6.0%	+ 18.0%	1,762	5.2%	▲ 2.8%
産業機械	8,722	32.4%	10,257	33.7%	+ 17.6%	13,746	40.0%	+ 34.0%
合計	26,908	100.0%	30,446	100.0%	+ 13.1%	34,338	100.0%	+ 12.8%

工業用計測制御機器

産業技術の基本となる計測制御技術を
安全性・信頼性で支える。

- ◆工業用センサー
- ◆制御機器
- ◆受信機器
- ◆情報通信・変換機器

取扱い商品一例

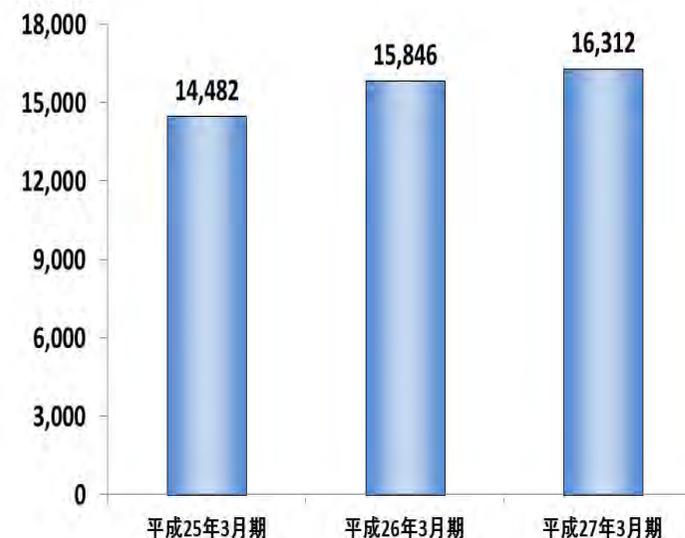


電波レベル計



記録計

(単位:百万円)



【増減理由】

各業界において設備更新投資が堅調で、中でもプラント・エンジニアリングや機械製造業向け工業用センサーの売上が伸長し、前期比2.9%増となりました。

環境計測・分析機器

『身近なところから地球環境保全』を重点テーマに、ユーザーの環境改善対策に貢献。

- ◆水質・ガス・大気分析機器
- ◆気象観測機器
- ◆振動・騒音・臭気測定機器

取扱い商品一例

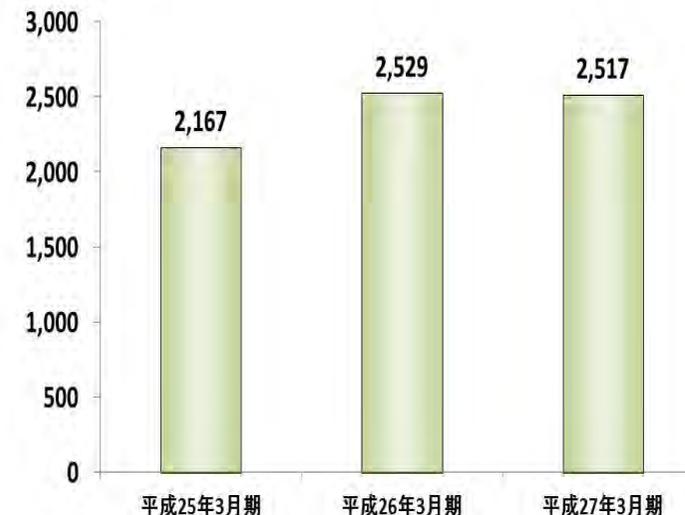


複合ガス検知器



地震計

(単位:百万円)



【増減理由】

各業界において老朽化した水質・ガス・大気分析機器の更新案件が堅調に推移したものの、大型の設備更新がなく、前期比0.5%減となりました。

測定・検査機器

研究開発や製品の検査を
確かな品質でサポート。

- ◆形状検査・試験機器
- ◆非破壊検査・試験機器
- ◆材料検査・試験機器
- ◆電力監視機器・システム

取扱い商品一例



工業用ビデオスコープ



輪郭形状測定器



【増減理由】

フィルム製造業や機械製造業において生産設備用検査機器が増加したものの、大型の設備更新がなく、前期比2.8%減となりました。

品目別売上高

産業機械

あらゆる生産設備・社会資本設備で活用される産業機械のソリューションを提供。

- ◆油・空圧機器
- ◆ポンプ・バルブ機器
- ◆道路維持機械
- ◆エネルギー関連設備
- ◆各種装置

取扱い商品一例

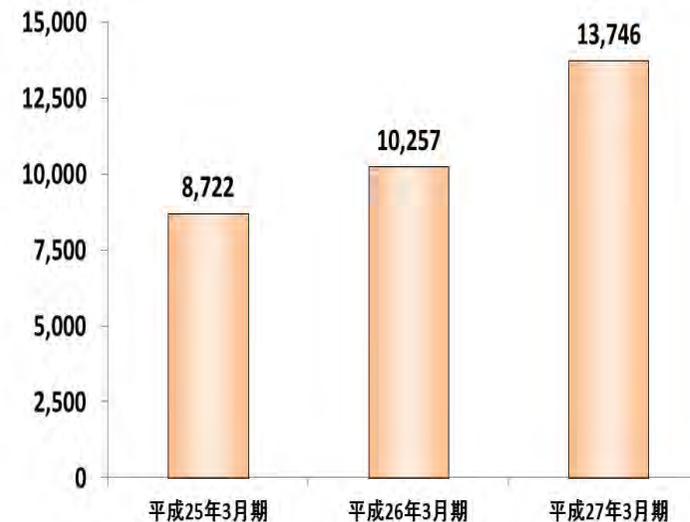


ポンプ



路面清掃車

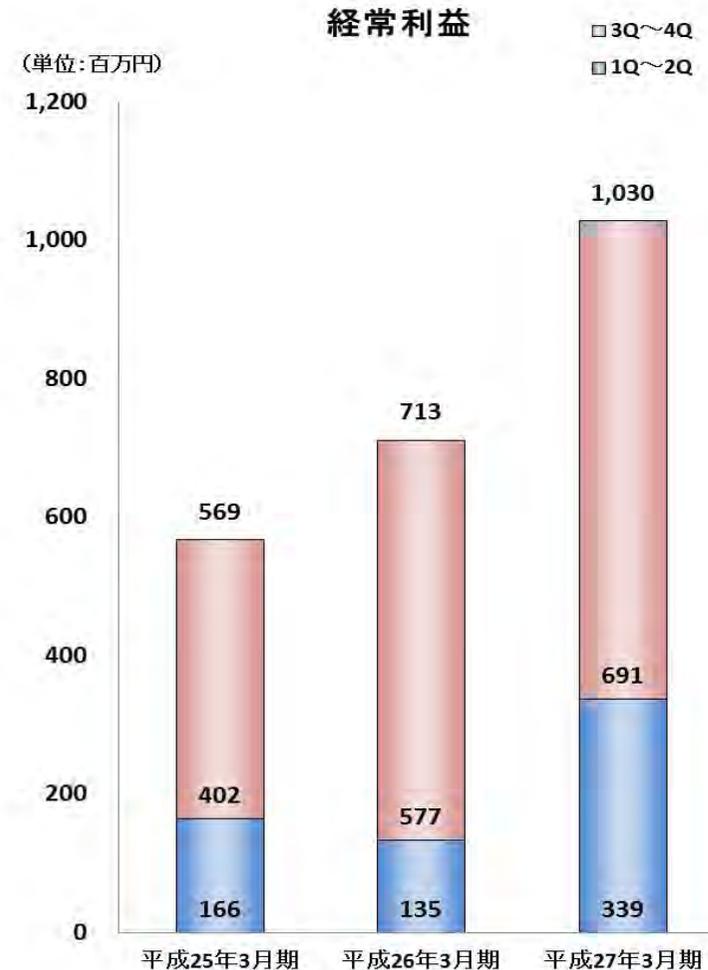
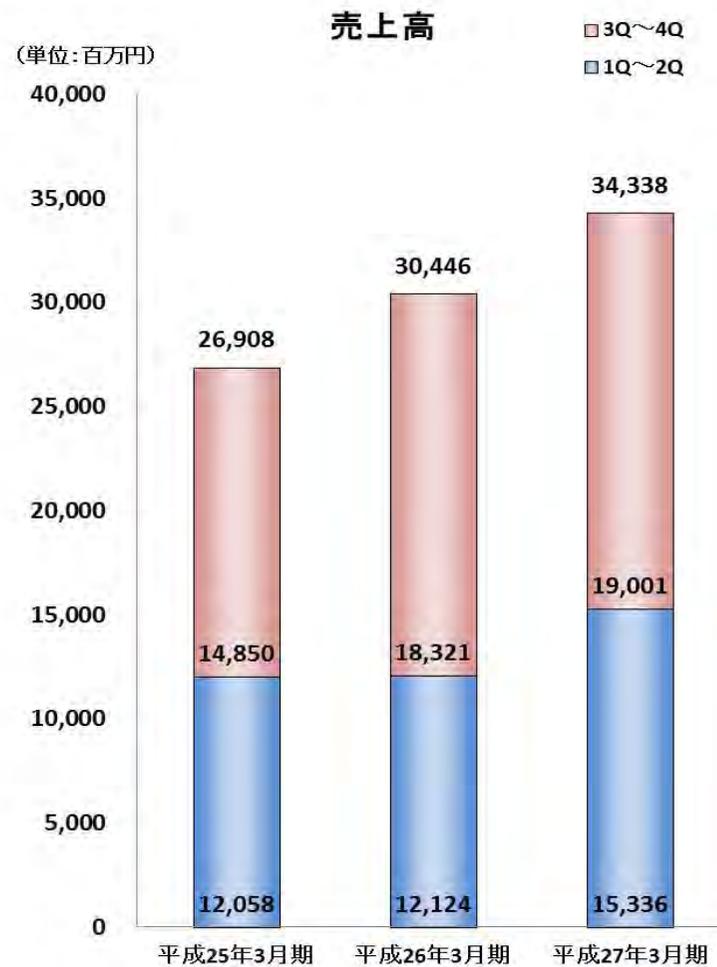
(単位:百万円)



【増減理由】

ポンプ・バルブや産業機械等の設備更新案件が堅調で、また、災害対策車両やメガソーラー関連付帯機器の販売が伸長し、前期比34.0%増となりました。

平成27年3月期半期別業績



※平成26年3月期第3四半期より、東武機器(株)の業績を連結取込みしております。

バランスシート(連結)



平成27年3月期 ハイライト(カッコ内は前期比)

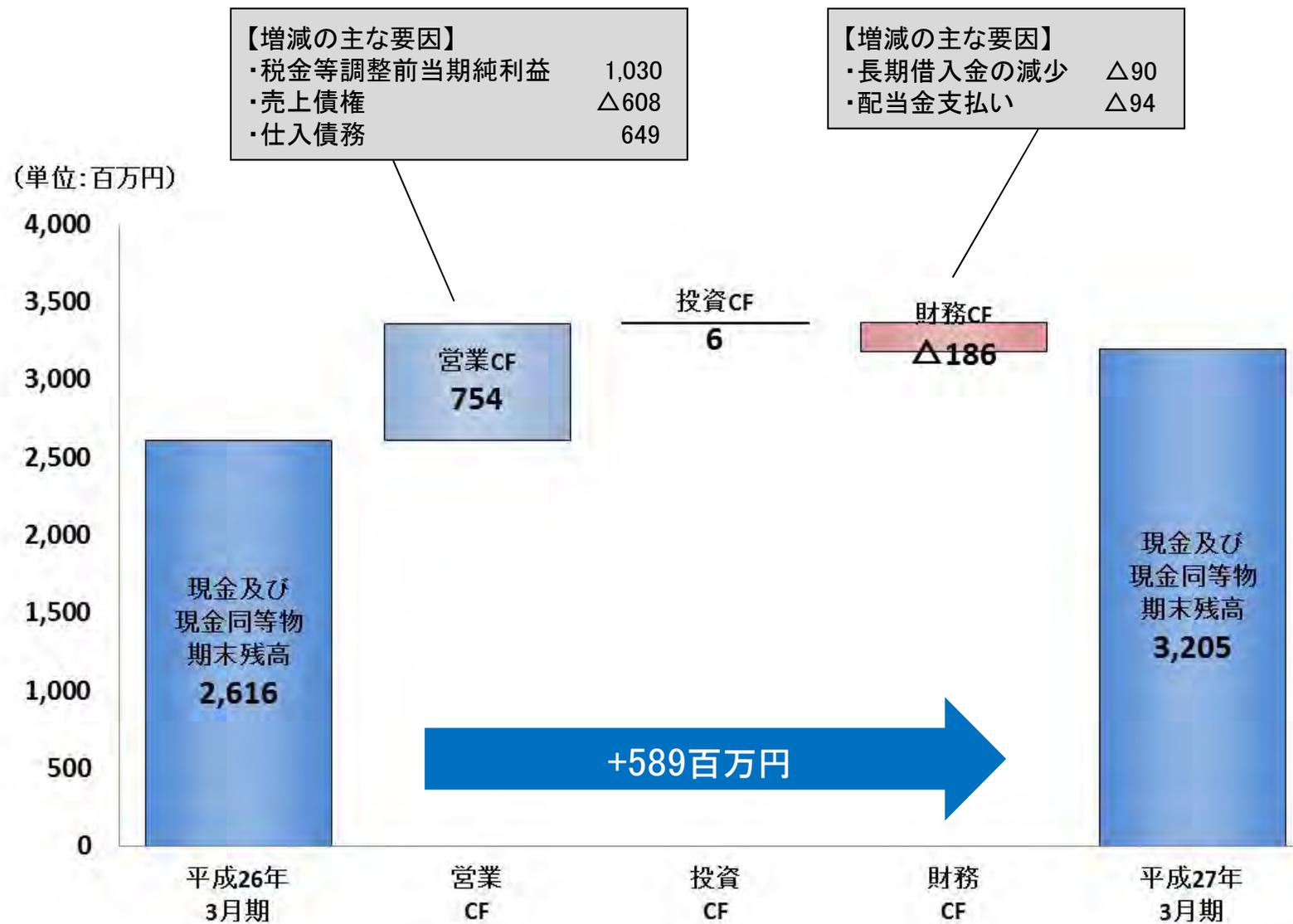
資産

- 【増減の主な要因】
- ◆受取手形及び売掛金: 14,419(+617) 売上高増加
 - ◆現金及び預金: 3,205(+489) 売掛債権の回収増加

負債・純資産

- 【増減の主な要因】
- ◆支払手形及び買掛金: 11,087(+661) 仕入高増加
 - ◆純資産: 7,754(+564) 当期純利益による増加

連結キャッシュ・フロー



平成28年3月期 連結計画

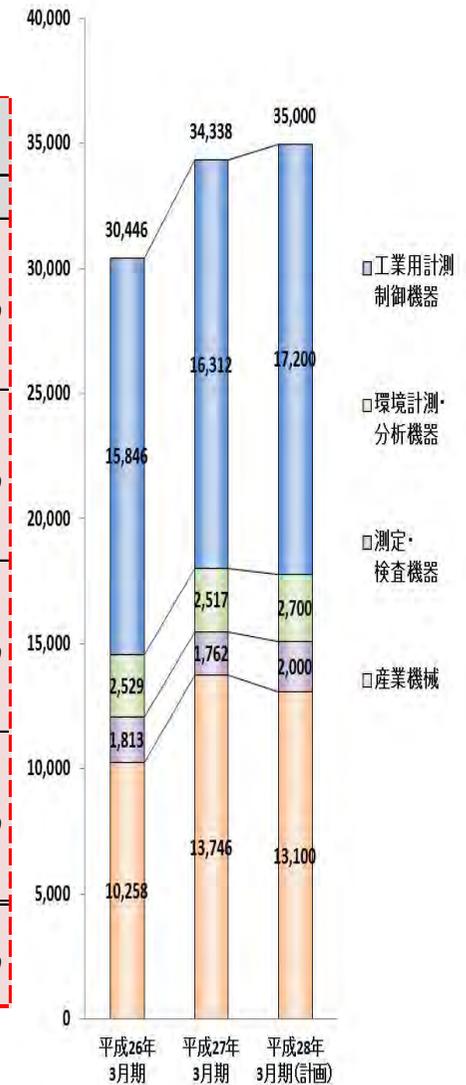
(単位:百万円)	平成27年 3月期	平成28年 3月期	前期比	
	実績	計画	増減額	増減率
売上高	34,338	35,000	+ 661	+ 1.9%
営業利益	1,008	1,030	+ 21	+ 2.1%
経常利益	1,030	1,030	▲ 0	▲ 0.1%
当期純利益	584	584	▲ 0	▲ 0.1%
1株当たり利益(円)	92.35	92.27	—	—

見通し

- 景気は緩やかに回復すると予想され、当社グループの事業領域におきましては、企業収益の改善に伴う設備更新投資が継続されると見込んでおります。

品目別売上高計画

(単位:百万円)	平成26年3月期		平成27年3月期			平成28年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	計画	構成比	前期比
工業用計測制御機器	15,846	52.0%	16,312	47.5%	+ 2.9%	17,200	49.2%	+ 5.4%
環境計測・分析機器	2,529	8.3%	2,517	7.3%	▲ 0.5%	2,700	7.7%	+ 7.3%
測定・検査機器	1,812	6.0%	1,762	5.2%	▲ 2.8%	2,000	5.7%	+ 13.5%
産業機械	10,257	33.7%	13,746	40.0%	+ 34.0%	13,100	37.4%	▲ 4.7%
合計	30,446	100.0%	34,338	100.0%	+ 12.8%	35,000	100.0%	+ 1.9%



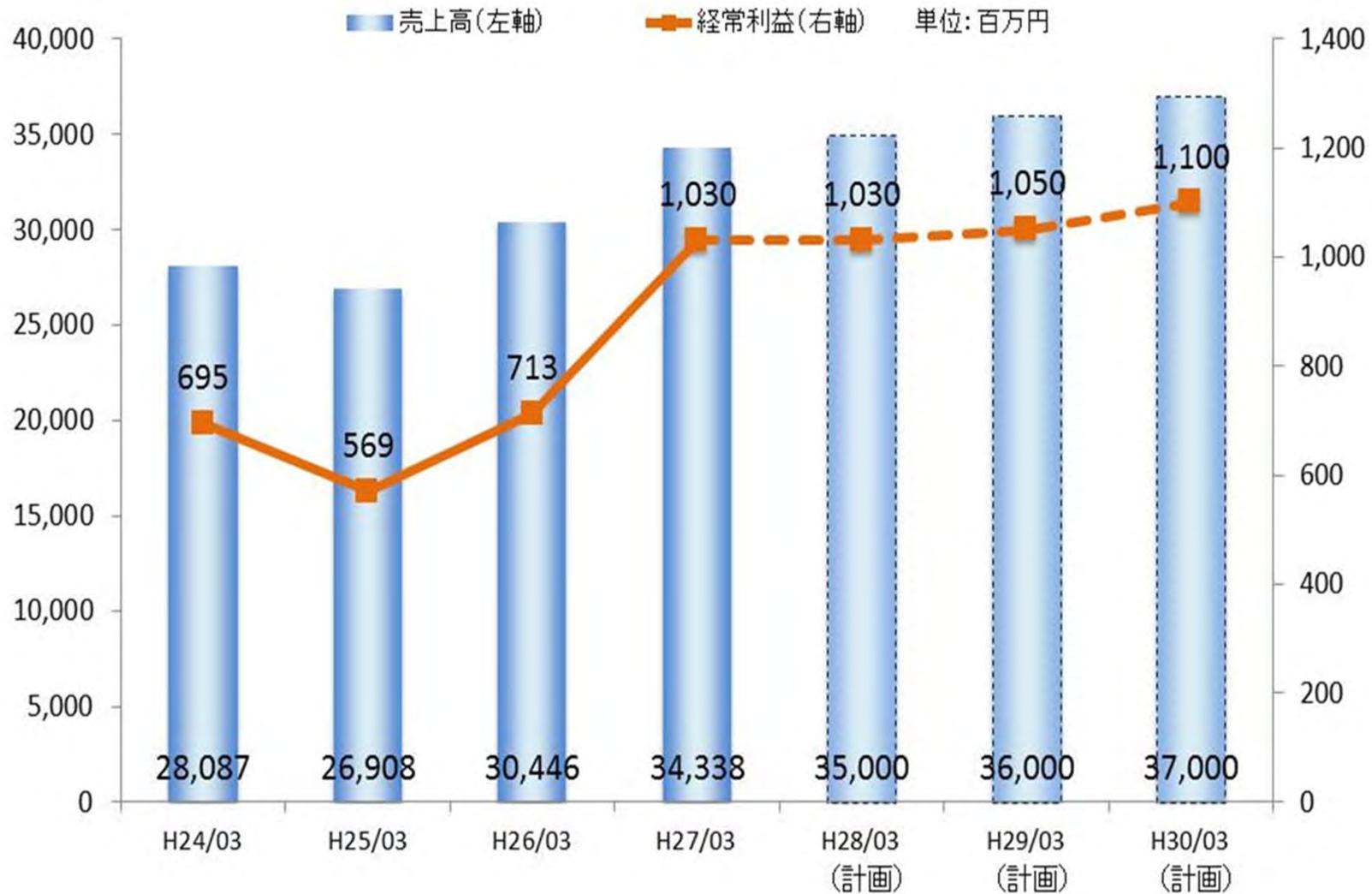
中期3ヵ年経営計画

中期3ヵ年経営計画

- 平成27年度中期3ヵ年経営計画は、経済環境と平成27年3月期業績を元にローリング方式にて新たに策定しました。

<p>平成27年度～平成29年度 経営基本方針</p>	<p>新たな成長への挑戦と 強靱な収益構造の確立</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◆当社が保有する「人・モノ・金・情報・技術」等の経営資源を有効活用し、攻めと守りの姿勢を明確にした事業展開を推進し、新たな成長の実現に挑戦。 ◆付加価値提案型営業を進化させ、顧客が希望する新たなサービス・役割を提供する事で強靱な収益構造の確立を目指す。 	
<p>平成27年度 経営方針</p>	<p>現場力と総合力の強化</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◆現場における社員一人一人の実行力・変革力・提案力・情報収集力等の力量を強化。 ◆組織としてベクトルを統一し、結束を高め施策を貫徹する総合力を強化。 ◆新規事業・市場に迅速かつ積極的な展開を推進し、次世代を見据えた人材の育成とビジネス創造への挑戦。 	

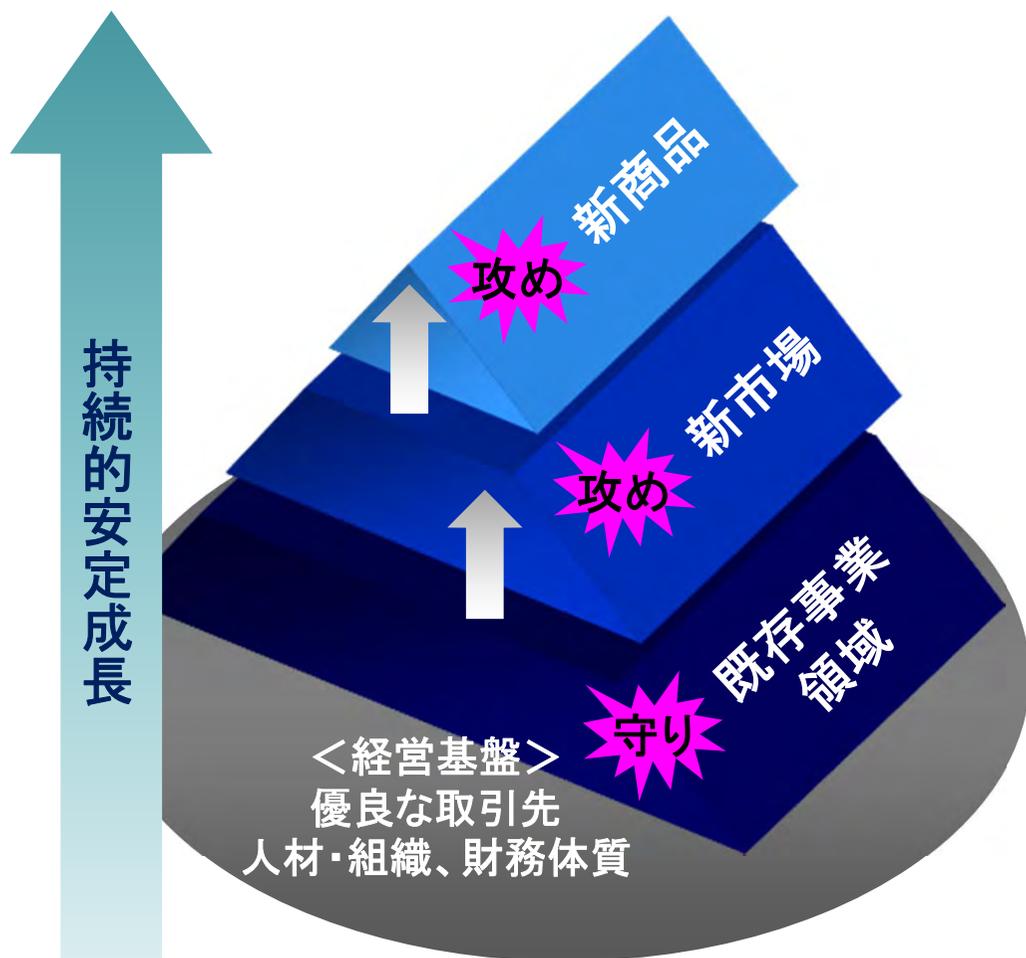
中期3ヵ年経営計画



基本戦略

平成27年度～平成29年度 経営基本方針

新たな成長への挑戦と強靱な収益構造の確立



【既存事業領域】
 既設設備のリプレイス需要やメンテナンス機器の需要の取り込みに加え、新規投資分野への設備導入需要の獲得により、盤石な経営基盤を構築する。



【新市場・新商品】
 新エネルギー関連等の新市場への継続取り組みとFAシステムや新商品により、更なる拡大を図る。

株主還元策

【配当政策】

配当額: 1株につき年10円を最低限維持 ・ 配当性向: 30%を目標

	第65期 (平成24年3月)	第66期 (平成25年3月)	第67期 (平成26年3月)	第68期 (平成27年3月)	第69期(予定) (平成28年3月)
普通配当	15.00円	13.00円	15.00円	22.00円	22.00円
配当性向	27.9%	26.3%	25.2%	23.8%	
株主優待 (500株以上)	GREENSHOES CARD (1,000円)	GREENSHOES CARD (1,000円)	GREENSHOES CARD (1,000円)	GREENSHOES CARD (1,000円)	
ROE (株主資本利益率)	5.2%	4.3%	4.6%	7.8%	

平成28年3月期予定
年間普通配当
22.00円
第2四半期末5円
期末17円



GREENSHOES CARD

営業施策 注力商品

営業施策：注力商品

◆FAシステム、 情報通信・ネットワーク機器

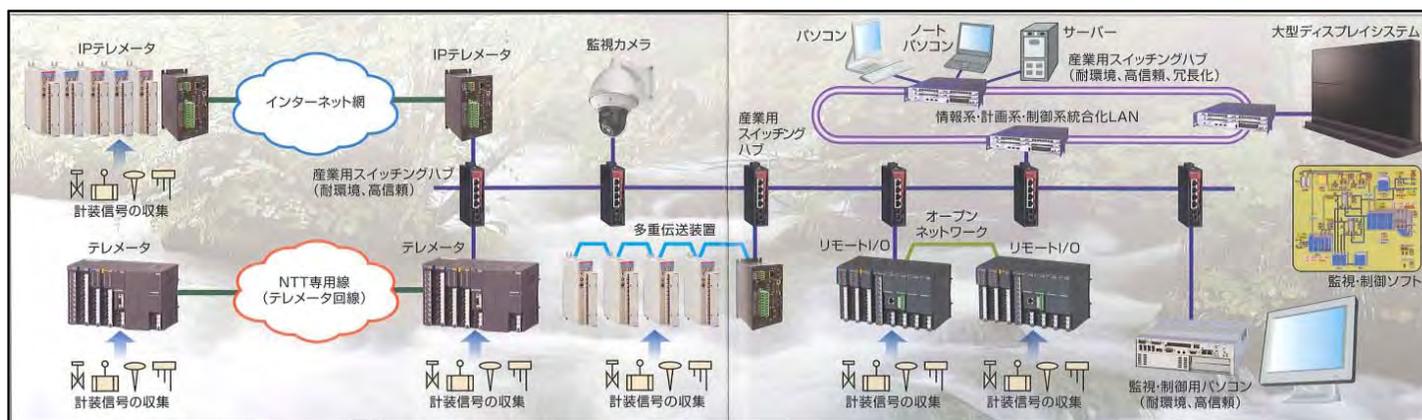
- 測定、通信・監視、受信・表示、
通報、制御機器等幅広い
取扱い商品群
- ネットワークシステムの構築も
対応

◇目的

- ・コンピューターを導入し自動化することで、
省力化や省人化を実現
- ・工場の設備や機器を統合的に管理
- ・効率性や確実性の向上
- ・進捗管理や問題解析が容易

イメージ図

※当社オリジナル
カタログ抜粋



営業施策：注力商品

◆メガソーラー関連付帯機器 (接続箱、監視カメラ等)

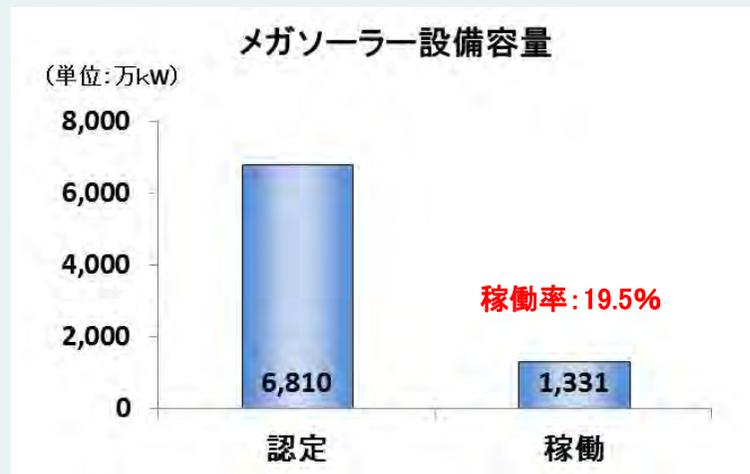
- 電力供給問題を解決する
再生可能エネルギー
- メガソーラーシステムに不可欠な
機器を幅広く取扱い

取扱い商品

※当社オリジナル
カタログ抜粋



【メガソーラー設備状況：経済産業省公表】
2015年1月末時点



営業施策:注力商品

◆環境配慮型機器 (水質管理機器)

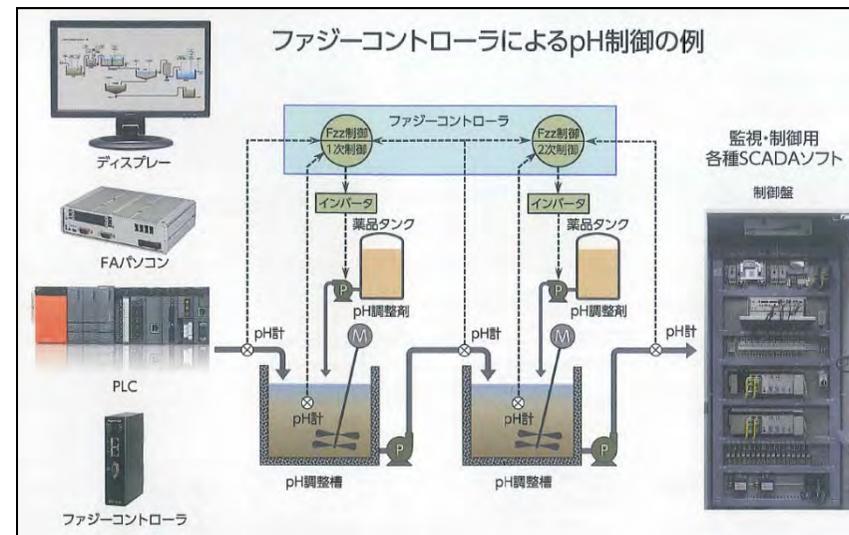
- 省力化と低コストで安心・安全な排水処理に貢献
- 自動制御システムの構築も対応

◇目的

- ・監視による排水処理の負荷軽減、適正化
- ・水質汚濁事故の未然防止
- ・水質総量規制等の法規制への対応
- ・省エネや廃棄物削減

取扱い商品

※当社オリジナル
カタログ抜粋



◆保安・メンテナンス機器

- 日々の点検と保安対策に貢献
- 機器の点検・修理・校正まで、ワンストップで対応

◇目的

- ・既存設備の維持・延命
- ・既存設備の安定運転維持・管理
- ・事故防止
- ・機器購入コストの削減

取扱い商品

※当社オリジナル
カタログ抜粋



◆オイル清浄度管理機器 (ハイスペック ・ハイフローフィルター)

- フラッシング時間を大幅短縮
- 英和オリジナル
- 検証用デモ機もご用意

◇特徴

- ・高精度・高効率かつ大流量濾過が可能なフィルターで、「目標清浄度の達成」及び「フラッシング時間の短縮」に繋がる。
- ・制御盤の国産化、清浄度モニターの搭載により、フラッシングを実行しながら清浄度のモニタリング・データロギングが可能。
- ・タブレット端末にて、リモート操作・監視もでき、トレーサビリティシステムの構築も可。

取扱い商品



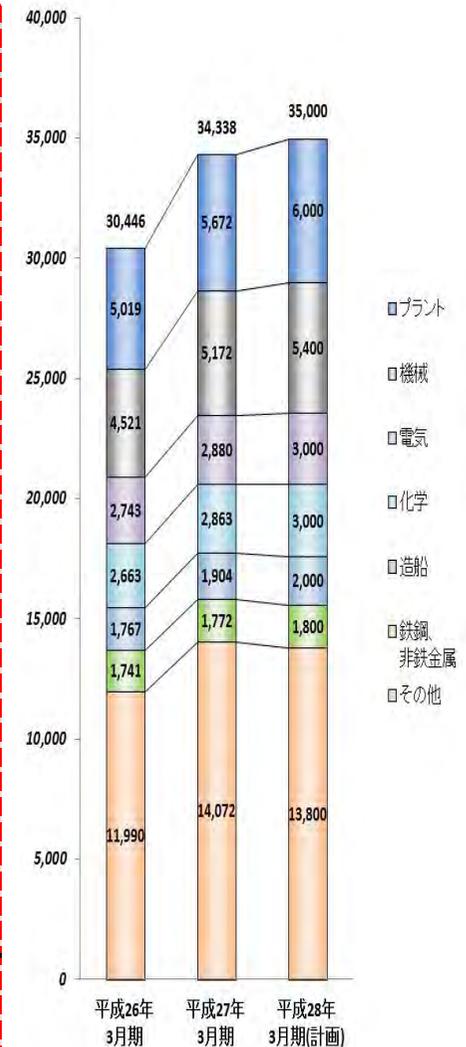
■主な用途

- ・大型機械のフラッシング
：建設機械、船用エンジン、大型タービンのフラッシング等
- ・油機テストスタンドの清浄度管理
：トランスミッション、油圧モータ、油圧バルブ等
- ・大型油圧・潤滑装置の常時濾過
：破碎機、選別機、プレス機、押し出し機等

参考資料

業界別売上高計画

(単位: 百万円)	平成26年3月期		平成27年3月期			平成28年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	計画	構成比	前期比
プラント	5,019	16.5%	5,672	16.5%	+ 13.0%	6,000	17.1%	+ 5.8%
機械	4,521	14.9%	5,172	15.1%	+ 14.4%	5,400	15.4%	+ 4.4%
電機	2,743	9.0%	2,880	8.4%	+ 5.0%	3,000	8.6%	+ 4.2%
化学	2,663	8.7%	2,863	8.3%	+ 7.5%	3,000	8.6%	+ 4.8%
造船	1,767	5.8%	1,904	5.5%	+ 7.8%	2,000	5.7%	+ 5.0%
鉄鋼・ 非鉄金属	1,741	5.7%	1,772	5.2%	+ 1.8%	1,800	5.1%	+ 1.6%
その他	11,990	39.4%	14,072	41.0%	+ 17.4%	13,800	39.5%	▲ 1.9%
合計	30,446	100.0%	34,338	100.0%	+ 12.8%	35,000	100.0%	+ 1.9%



営業網



- 本社: 大阪、東京
- その他営業拠点: 33カ所
- 当社子会社: 双葉テック(株)、東武機器(株) (仙台北社、山形、岩手)
英和双合儀器商貿(上海)有限公司(上海、広州)

取扱い商品群

産業技術の基本となる計測制御技術を安全性・信頼性で支えます。

研究開発や製品の検査を確かな品質でサポートします。

生産現場で“はかる”

品質を“はかむ”

4分野、計1万点を超える

EIWA

EIWAの取り扱い商品。

環境計測
分析機器

産業機械

環境を“はかる”

産業と環境を“つなぐ”

「地球環境保全」を重点テーマに環境改善対策に貢献します。

環境との調和に貢献する産業機械のソリューションを提供します。

本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL: 06-6539-4816

E-Mail: ir-info@eiwa-net.co.jp

URL: <http://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。